

学習書の新編集・執筆方針

1. 学習書とは

通信制高校で学ぶ生徒のうち、教科書だけでは報告課題（レポート）の作成等の自学自習を進められない生徒を主な対象に、自宅等での自学自習を支援するために、教科・科目の特性等に応じた効果・効率・魅力の高い教材となるよう、ICTの利活用を視野に入れて、学習書を編集・執筆する。

2. 学習書の対象

・教科書だけで自学自習を進められない生徒に視点を合わせ、自宅等での自学自習を支援するための教材として編集・執筆する。

※ 余力のある生徒の指導は各学校の補助教材に任せるべきである。

・自学自習が進められない原因として考えられる「学習意欲が低い」「義務教育段階も含めた既習の学習内容が定着していない」「自学自習の方法が身についていない」などを解決できるよう工夫する。

※ 学習書を活用して自学自習をする過程で自学自習の方法が身につくように設計できるようにする。

3. 学習書の構成

・学習内容は教科書よりもスモールステップを踏み、小単元をより細分化したり、教科書で取り上げられていない義務教育段階の復習に関する部分を取り扱ったりすることも検討する。

・必ずしも教科書の全内容を扱うことを前提としない。

※ 教科書の内容の中でも基礎的・基本的な内容を精選して扱う。

4. 学習書の内容

・添削指導や面接指導で気づいたよくある間違いも掲載する。

※ 教科書には正しい（良い）解答例しか掲載されていないことが多いため、学習書では誤った（良くない）解答例を積極的に掲載することで生徒が自学自習で解答をより正確に自己評価できるようにする。

・文章による説明よりも図や写真、イラストを多く使用し、視覚的な理解を促す。

・一般的で厳密な説明は教科書に譲り、学習書では具体例を用いた説明でイメージを大切にする。

・教科書と違い、語りかける口調で記述する。

※ 学習書は生徒の自学自習に寄り添い、支援する教材である。

・各教科・科目の特性等を踏まえ、効果・効率・魅力の高い教材となるよう工夫する。

5. ICTの利活用について

・ICTの利活用についてはICT利活用プロジェクトの検討を待つ。